

# 大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN

令和2年(2020)

皇紀2680年

令和2年わかば祭り(春の大祭)号【第117号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

## 主な目次

コロナ禍終熄をわかば祭りに祈る ……	2頁
わかば祭り(春の大祭)のご案内 ……	3頁
杜の話題 ……	5頁
大宮八幡の杜 春から夏へ ……	8頁
第7回フォトコンテスト作品募集中 ……	9頁
初宮詣芳名・どんぐり通信 ……	10頁
わかば祭り社頭風景 ……	12頁



わかば祭り当日祭 浦安の舞



# わかば祭り(春の大祭)

御神苑の木々の緑が鮮やかな彩りとなる季節となりました。当宮では、5月3日より5日までわかば祭り(春の大祭)を、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のもと厳粛に斎行致します。まず、4月29日には昭和天皇のご懿徳をお讃え申し上げ、昭和祭を斎行。春の大祭期間中は、5日の当日祭(尚武祭)を中心に、3日は、**第一日ノ儀**、4日、**第二日ノ儀**と午後には大宮八幡宮植樹祭が行われ、観葉植物が授与されます。そして5日午前10時より春の大祭**当日祭(尚武祭)**併せ**感染症拡大最終祈願祭**が斎行され、皇室国家の安泰・五穀豊穣を祈念し併せて新型コロナウイルスの早期退散を祈願致します。なお、3日の第一日ノ儀の祭典では、**古武道武技奉納**有志の会の代表、武田流傳黒坂派波心会会長黒坂信昭師範による演武が奉納されます。大祭中の神賑奉行事についても下記の通り中止となります。亦、期間中の大宮八幡植木市・盆栽展示即売会・露店の出店はありませぬ。



## コロナ禍終熄をわかば祭りに祈る

宮司 鎌田紀彦

昨年12月初めに、中国の武漢で発生したといわれている新型コロナウイルス感染症は、今や地球規模で拡大し続け、欧米等世界の感染者150万人超(4月9日現在)と発表されています。

そうして諸外国では目に見えぬ敵との「戦争」であると危機脱出に懸命に取り組んでいる姿が報道されております。

又、今年はおリンピックイヤーであり、予定されていた東京オリンピック・パラリンピックも来年の夏に史上初めて延期されています。

さて、我が国では東京都に於いても3月末頃より感染者が増え始め、4月9日には181名が感染し合計1,519名となりました。全国でも576名が罹患し合計5,529名となり、クルーズ船、チャーター機の帰国者を入れると6,255名(死者も119名)となっております。

この様な状況の中、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、3日前の4月7日の夜、首相より「緊急事態宣言」が東京都他6府県を対象に、5月6日迄の期間とし発令され、不要不急の外出自粛要請がありました。又、東京都知事は、「感染爆発の重大局面」であり「医療崩壊」に通ずるとの強い危機感を示されていきました。



この様な状況を鑑みて役員会に諮り氏子・崇敬者の皆様方の健康と安全を考慮し、本年の昭和祭と

和祭(中祭式)及びわかば祭り(春の大祭)5月3日(5日)の当日祭(尚武祭)に大祭人数を制限してご参列を頂き、厳粛に肅々と斎行させて頂くことに致しました。

何卒、今般の諸事情をご賢察頂き、ご理解下さいますようお願い致し、一日も早い終熄と皆様方のご多幸とご健勝を衷心よりお祈り申し上げます。

従ってわかば祭り期間中のハイライト・稚児行列を始め、多くの神賑奉納行事が中止となっております。

又、付属大宮幼稚園におきましても新年度、年長年中組の始業式並びに入園式も一ヶ月後の連休明けに延期して、5月7日(木)始業奉告祭、5月10日(日)第71回入園奉告祭に併せて各々の式を簡素化してご神前で執り行う予定となっております。

天皇陛下には、昨年5月1日、第126代の新天皇として踐祚され、令和と改元され、早一年が過ぎようとしています。

秋には「即位礼正殿の儀」が執り行われ、天皇皇后両陛下が天津日嗣の高御座・御帳台へ昇られ、御即位を内外に宣明される頃生憎の雨も上がり虹がさしている瑞祥は、将に我が国は神国であると思わせて戴きました。

又、天皇ご一代に一度限りの重要な新嘗祭を大嘗祭といひます。「大嘗宮ノ儀」は夕刻の悠紀殿と夜半の主基殿で二度にわたり天皇自ら新穀を神々へお供えし、神々とともに召し上げられるお祭りなのです。そうして「国安かれ、民安かれ」と祈りを捧げられる祭祀に臨まれるお姿は、報道により多くの国民の目に触れ、祭祀こそが天皇様

の本来のお務めであることが広く知らされました。

今年、令和2年は日本書紀撰上1300年の記念の年、「三大神勅」も書紀の一書に伝えられています。所謂神話に基づく永い伝統に裏付けられた第126代に及ぶ万世一系の天皇を戴いてきた私どもは、御即位以来、常に「国民に寄り添われる」大御心を、私ども国民もお慕い致しているのです。所謂天皇と国民が真心を通わせる世界に類いない君民一体の立憲君主国の我が日本の国柄に、外国の人達が羨望の眼差しを向けて頂いている皇室は私共の誇りでもあります。

2月23日は天皇陛下の御生誕の日で、初めての**天長祭**は還暦のお祝いでもありました。

いよいよ4月19日は「立皇嗣の礼」が行われます。「立皇嗣の礼」は天皇陛下が秋篠宮文仁親王殿下を皇位継承順位第一位の皇嗣となられたことを内外に宣明される儀式で皇居宮殿正殿(松の間)での「立皇嗣宣明の儀」があります。そのあと、初めて天皇陛下が皇嗣殿下に会われる「朝見の儀」が執り行われます。皇嗣殿下は皇太子としての務めを果たされ、天皇陛下をお支えになるのです。

尚「宮中饗宴の儀」は新型コロナウイルス感染症拡大対応の為に中止になってしまいましたが、4月10日には「立皇嗣の礼」をも延期する方向で調整に入ったと官房長官の記者会見で明らかにされました。従って当宮も19日(日)午前9時よりの「立皇嗣の礼当日祭」(臨時中祭式)をご奉仕する予定でありましたが延期と致しました。

今年桜の花が早く咲き始め、3月20日の春分の日頃より境内の桜が見頃となりました。4月8日頃には神門前の御大典記念樹「八重紅枝垂桜」が麗しく咲き誇り、

折からの望月に照らされた夜のライトアップも格別で、コロナ禍を忘れさせるひと時でありました。

やがてひと雨ごとに、大自然の息吹の感じられる草木が芽吹き始め、風薫る若葉、青葉の好季節が巡ってまいります。

5月5日の**わかば祭り当日祭(尚武祭)**は、皇室を中心とする我が国の隆昌と世界の平和を祈念いたします。今年の五穀の豊穣を中心にあらゆる産業の発展と、ご家業のご繁栄、氏子・崇敬者等のご家族の平安をご祈念させて頂きます。併せて3月11日より恒例祭及び毎朝の朝御饗祭に宮司以下神職・巫女等が参列して新型コロナウイルス感染症の一日も早い終熄を祈願致しておりますが、大祭当日祭(尚武祭)に併せ**感染症拡大最終祈願祭**を斎行し祈願させて頂き度く思っております。

古来より春のお祭りは、秋のお祭り・新嘗祭と一対の祈年祭(きねんさい)でもあります。

年は稲霊(いねたま)―奥津御年―を表し、五穀の豊穣を神々に祈り(祈年祭、秋にはその収穫の品で神々におもてなしをして感謝をするお祭りが新嘗祭で、その時のお供え物を神々よりの賜り物(食べ物の語源)として頂いてきました。

神々と同じ物を頂くことに依って神々より更なる生命力(恩頼)を頂いてきたのです。併せて大宮八幡祭り(秋の大祭)や新嘗祭が盛大に斎行されますようご祈願いたします。

(令和2年4月10日記)



### 昭和祭斎行

4月29日(昭和の日) 午前10時より昭和天皇のご聖徳をお讃え申し上げ、**昭和祭**が中祭式にて厳粛に斎行されます。昭和祭は昭和の日制定に伴い、平成19年から奉仕され、今回で14度目を迎えます。



### 献木のお祝い

5月4日(みどりの日) 午後2時より大宮八幡宮植樹祭(献木式)が当宮みどりの会主催で斎行されます。各家庭にも緑を拡げることが目標としており、**献木**のご協賛をお申し込みの方には観葉植物を授与いたします。



献木初穂料一口 二〇〇〇円  
※年間を通じて承っております。

### わかば祭り 祭典と奉納神賑行事

昭和祭	4月29日
躰躰育木祭並びに皐月朔日祭	5月1日
わかば祭り 第一日ノ儀	5月3日
第42回稚児行列巡行(中止)	5月3日
わかば祭り 第二日ノ儀	5月4日
大宮八幡宮植樹祭(献木式) (主催みどりの会)	5月4日
わかば祭り当日祭(尚武祭) 併せ感染症拡大最終祈願祭	5月5日
わかば祭り終了奉告祭(直会乃儀)	5月5日

### 神賑行事

春の弓道奉納射会	中止
古武道武技奉納 (但し一名で第一日ノ儀中に奉納あり)	中止
佼成学園吹奏楽部奉納演奏	中止
第21回若葉inおみや	中止
第21回若葉inおみや	中止
杉並太鼓奉納演奏	中止
野点茶会	中止
(裏千家淡交会東京第6東支部)	中止
方南エイサー踊り奉納	中止
雅太鼓奉納演奏	中止
奉納献燈提灯	4月29日~5月17日
園児画展	中止
みどりの会即売	中止
スカウトバザー	中止
大宮八幡植木市	中止
盆栽展示会・即売会	中止
露店	中止
第21回茶道裏千家献茶式	中止



一年の魔障を祓いました。3日には皇位の大元の始めを寿ぐ**元始祭**が午前10時より斎行されました。



名譽区民、能楽師、野村四郎師により奉納され、続けて宮司奉仕による**新春厄除開運初大祈願祭**（一番祈禱）が斎行されました。払暁午前2時30分には多摩清水社にて**若水**が汲まれ、ご神前に供えられました。明けて午前8時、宮司以下祭員奉仕により**歳旦祭**が斎行されました。2日は、小笠原流宗家による恒例の**新春除魔神事「墓目の儀」と「大式的」**が奉納され、墓目の矢の音によって今年



新春の表情

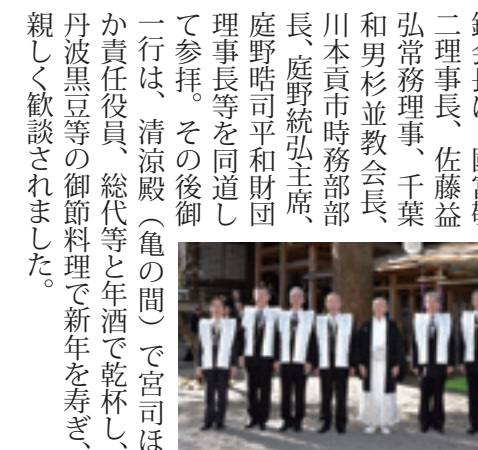
## 杜の話題

元旦の午前零時、宮司の打ち鳴らす一番太鼓が境内に響き渡り、令和2年の幕明けとなりました。神門が開かれると思っても新たにした参拝者で境内があふれました。まず**神能「翁」**が人間国宝の杉並区

小正月の恒例の行事である**とんど焼き**（古神矢・古神札等焼納祭）が、1月15日、生憎の雨の中、斎行されました。ご社殿にて**睦月月次祭並古神矢・古神札焼納祭**のあと境内の斎場で古神矢・古神札焼納祭を斎行、祝詞奏上後、**火鑽神事**により淨火が熾され宮司以下祭員・参列員らが大祓詞を奏上する中、古神矢・古神札が焚き上げられ、感謝と除災を祈りました。



元旦午前10時、立正佼成会庭野日鑑会長は、國富敬二理事長、佐藤益弘常務理事、千葉和男杉並教会長、川本貢市時務部部長、庭野統弘主席、庭野皓司平和財団理事長等を同道して参拝。その後御一行は、清涼殿（亀の間）で宮司ほか責任役員、総代等と年酒で乾杯し、丹波黒豆等の御節料理で新年を寿ぎ、親しく歓談されました。



立正佼成会庭野日鑑会長  
正式参拝

昭和24年1月26日、奈良・法隆寺の金堂より出火した火災は、国宝の金堂壁画を焼失してしまいました。貴重な文化財を守るためこの日は文化財防火デーに制定され、当宮では、杉並消防署の指導のもと、毎年消防訓練を行っています。午前10時半、社殿より出火との想定で訓練を開始。通報連絡、避難誘導、初期消火に続いて杉並消防署、杉並消防団第二分団、ボランティア消防隊、当宮自衛消防隊により、ご社殿の屋根高く**一斉放水**が行われました。地元大宮二丁目町会の皆さん方にもご参加いただきました。



初天神祭  
1月25日、大宮天満宮の**初天神**が斎行されました。7名の社頭祈願者をはじめ約80名が参列、年初の天神祭は丁度受験のシーズンでもあり、受験生をもつ親御さんたちが参列されました。



季節の変わり目である立春・立夏・立秋・立冬の前日を節分といひ、年4回あるうちの特に立春前日の節分には、1年の邪気を祓う重要な神事が行われてきました。当宮では、午前10時より**節分祭**を斎行。祝詞奏上のもと桃の弓・葦の矢で「天・地・人」の魔を射る**卯杵神事**を奉仕、次いで外拝殿大前にて**鳴弦の儀**が宮司奉仕により行われ弓弦の鳴る音によって魔障を祓いました。次いで**豆撒き神事**。豆撒きは、まず、当宮幼稚園の園児たちが鬼に扮して行われ、次いで一般を対象にして計二回にわたっておこなわれました。



節分祭 一年の邪気を祓う



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記の対応を当面の間、実施致します。ご参拝の皆様にはご不便をお掛けしますが、何卒ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

《ご祈願について》  
○現在も下記対策の上9:30～16:30の間で受け付けております。  
・扉、窓を常時開けての換気  
・外拝殿にて間隔を広くとっての着席  
・直会の中（撤下品に御神酒が入っておりますのでご自宅にてお願い致します）

《境内施設について》  
○授与所（御札・御守など）は、間接的にお渡しするなど対策をしております。

・ご朱印は紙（書置き）朱印のみの授与といたします。  
○総合結婚式場 清涼殿1階ロビー、喫茶・ラウンジは営業中止と致します。但し、美容サロン・衣裳サロン・写真スタジオは営業しております。（清涼殿 地下）

《その他》  
・手水舎では、特設の流水手水にてお清めください。  
・末社の鈴緒は一時的に取り外しております。  
・神社職員はマスクを着用し、こまめに消毒液にて消毒を行い対応させていただきます。  
※これらの対応は、今後変更することもございますのでご了承ください。  
ご不明な点は社務所までお問い合わせ下さい。  
大宮八幡宮 社務所 03-3311-0105（代）



本年はご祭神**応神天皇**様がご生誕なされて1820年、神上がりましてより1710年を迎えました。平成22年の4月1日には、**応神天皇**七百年式年大祭を厳粛に斎行致しました。本年は先ず、**応神天皇山陵**（東我漢伏崗陵）を遙拝しその後卯月朔旦祭の斎行となりました。

献燈提灯奉納のご案内  
わかば祭りの期間中、皆様方のお名前（ご社名）を入れた献燈提灯を掲出させて頂き、ご社頭を賑々しくお飾りさせていただきます。つきましては、左記によりご献燈を賜りたくお願い申し上げます。

掲出期間 4月29日から5月17日まで  
初穂料 一燈一〇、〇〇〇円  
※詳しくは社務所にお問い合わせ下さい。

春の大祭後の主な行事（予定）

御嶽榛名神社例祭	5月16日
第41回大宮さつき展	5月下旬～6月上旬
神功皇后祭	6月3日
大祓詞書写会	6月20日～28日
夏越の大祓・茅の輪くぐり	6月30日
第22回乞巧奠	7月1日～15日
大宮八幡乞巧潜り	7月1日～15日
七夕の神遊び（投芸上達祈願祭）	7月7日
雅楽の夕べ（雅楽と神楽舞）	7月4日・11日
第20回納涼大宮天神こども祭り書画行燈掲出	7月24日・25日
第20回杜のひびきinおみや（和太鼓演奏）	7月24日・25日
多摩清水社例祭（水神祭）	8月1日
第37回戦没者慰霊祭	8月15日
第20回十五夜の神遊び・月の音舞台	10月3日

毎月・お朔日参りを致しましょう  
毎月1日 朔旦祭  
毎月15日 月次祭  
毎月25日 大宮天神月次祭  
ご自由にご参列下さい

新春社頭往来

1月1日  
人間国宝・杉並区名誉区民観世流能楽師 野村四郎氏  
立正佼成会会長 他幹部の方々6名  
庭野日鑑氏

1月2日  
弓馬術礼法小笠原教場 小笠原清忠氏  
三十一世宗家  
明治神宮権宮司 網谷道弘氏  
明治神宮崇敬会理事長  
1月4日 衆議院議員 石原伸晃氏  
令夫人 里紗様

1月6日  
公益社団法人 日本フライダル文化振興協会（BIA）  
会長 勝俣伸氏  
専務理事 野田兼義氏  
他4名

1月10日  
大國魂神社宮司 猿渡昌盛氏  
日枝神社宮司 宮西修治氏

1月18日  
フラワーアーティスト KAORUKO様  
江戸消防記念会第九区八番組 組頭 内山徳松氏  
小頭 末柄孝二氏

2月21日  
高井戸警察署署長 景山泰行氏





**大宮八幡宮桜祭り開催**

3月20日から31日にわたって「桜まつり」が開催されました。神楽殿前のベンチには毛氈が掛けられ朱傘が花見の風情を彩りました。当宮境内より元境内の和堀公園内の善福寺川沿いには数千本の桜があり、時季になると二斉に開花して目を楽しませてくれます。期間中は閉門時間を延長して、和堀公園への往来も自由になりました。参道、境内にはかがり火が点されました。また、31日は、早朝よりたちまちのうちに境内一面、雪景色となりました。

**りんどう会だより**

1月15日、とんど焼き神事(古神矢・古神札焼納祭)に併せて、恒例の厄よけぜんざいの授与奉仕を行いました。今年一年の無病息災を願って、ご神火をいただいて作られた丹波大納言小豆入りのぜんざいは、多くの参詣の方々に召し上がりいただきました。

\*随時会員を募集しています。お気軽に事務局(社務所)へお申し出下さい。



**勸学祭ランドセルお祓い式**

小学校入学を祝いお子様の成長を祈念する**勸学祭・ランドセルお祓い式**が、3月28日、29日に執り行われました。大きなランドセルを背負った新一年生たちが緊張した面持ちで参列しました。

**毎月お朔日参りには 月代り御幣守護を!!**

当宮では古くより朔日(二日)、十五日に月参りをされる参拝者の方々が多く、こうした方々に年間を通じて八幡大神様のご神威をお受け頂くよう、毎月のお朔日祭に併せてお朔日参りのご祈願後に「月参り御幣振り神事」を奉仕して「月代り御幣守護」を授与しております。

月毎にお申し込みの場合は初穂料三〇〇〇円、年間一括でお申し込みの場合は初穂料三〇、〇〇〇円にて齋行させて頂いております。



**氏子青年会だより**

元日を迎えた神門前で、御神酒の振るまいと八幡そばを出店し、初詣参詣者の方々に喜ばれました。

2月29日、「氏子青年の集い」を開催しました。正式参拝の後、高円寺氷川神社氏青、馬橋稲荷神社氏青、成宗白山神社睦会等来賓をはじめ48名の出席で盛会となりました。

**戌の日早見表** (令和2年5月~9月)

9月	8月	7月	6月	5月
4日(金)	11日(火)	6日(月)	12日(金)	7日(木)
16日(水)	23日(日)	18日(土)	24日(水)	19日(火)
28日(月)		30日(木)		31日(日)

は大安の日です



**戌の日詣りは 子育八幡さまの当宮で 安産祈願祭を!**

※戌の日以外でも随時お受けしております

ご祈願の方には大宮八幡息長帯(安産腹帯)と共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様健康にご出産の時を迎えられますようにと願いが込められた「母子緒守」と「安産祈願絵馬」を特別に授与しております。

大宮八幡息長帯



**大宮稲荷神社初午祭**

大宮稲荷神社の初午祭が本年は2月9日に斎行。朱色の初午幟がはためく中、宮司以下祭員により斎行されました。

**伊勢参宮旅行**

恒例の伊勢参宮旅行が2月25日より2泊3日の旅程にて行われました。今回の参宮旅行には19名が参加。一行は東京駅より新幹線で伊勢神宮外宮に向かい御垣内参拝。その後は内宮を御垣内参拝。御神楽を奉納しました。鳥羽湾を望む定宿鳥羽シーサイドホテルに宿泊。二日目は、滋賀県に向かい甲賀流忍者屋敷を見学後NHKの朝ドラでも話題の信楽町を巡り、昼食後、信楽陶芸村へ。新宮神社を参拝。伝統産業会館を見学。その後、京の奥座敷湯の花温泉松園荘保津川亭に宿泊。三日目は北野天満宮を正式参拝後、臨済宗の大本山大徳寺にて、特別公開の国宝を拝観。次いで、1963年より大徳寺の塔頭大慈院の営業する老舗、精進鉄鉢料理泉仙で昼食を摂り、錦市場を散策の後、新幹線で帰路につきました。

**紀元祭並檀原神宮選擇**

2月11日は、神武天皇様が初代天皇として檀原の宮で即位され、わが国が建国された記念の日です。午前10時、先ず社殿にて紀元祭を斎行。次いで清涼殿の特設齋場にて檀原神宮を選擇。「紀元節」を声高らかに斉唱し、聖寿萬歳三唱。皇紀2680年をお祝いしました。



**天長祭**

2月23日、令和の御代になり初めての天長祭が中祭式にて宮司以下祭員奉仕により厳粛に斎行され、次いで、表参道特設齋場より皇居を遙拝し聖寿の万歳を三唱致しました。

**責任役員・総代改選**

責任役員・総代の任期満了に伴い、4月1日付で新総代として定員40名中36名(内31名重任5名新任)が選出され、同日午前10時よりの朔旦祭に併せて総代就任奉告祭の後、ご神前で宮司より委嘱状が各総代に伝達されました。任期は、令和2年4月1日より令和5年3月31日までの3年間。また同日午後4時より、改選後初めての総代会を開催。神社規則第10条より、まず責任役員を選出、次いで議長団・監査を選出され、新議長により令和2年度事業計画並びに収支予算等についての議案が諮られ、満場一致で承認されました。

**大宮八幡宮 新役員・総代**

<b>代表役員宮司</b> 鎌田 紀彦	<b>責任役員</b> 藤枝 宏友 内山 誠 瀬沼 宏章 玉村 恭男 鈴木 憲章 末柄 哲男	<b>議長団</b> 青木 龍雄 丸山 光男 葉梨 俊郎	<b>監査</b> 笠原 紀一	<b>総代</b>	<b>相川 雄一</b>	<b>和山西地区</b> 藤枝 宏友 豊田 麗子 森川 純一 池田 鐘司 葉梨 俊郎 春原 功典	<b>大宮八幡宮 敬神婦人会 (りんどう会)</b> 会長 鎌田民枝
<b>大宮地区</b> 荒井 昭一 青木 龍雄 古屋 進 五本木 勝	<b>方南北地区</b> 三枝治太郎 丸山 光男 齋藤 恵一 内山 誠	<b>和南東地区</b> 梅田 清 横尾 信彦 佐野 晃央 岩船 守男 笠原 紀一	<b>松ノ木地区</b> 太田 正 瀬沼 年男 瀬沼 宏章 松島 敏之 井川 邦夫 松島 穰 小川宗次郎	<b>和南東地区</b> 岩崎 太良 齋藤多美夫 鈴木 憲章 岩田 一豊 細野 修三	<b>和南東地区</b> 相川 雄一	<b>大宮八幡宮 兼務神社 総代会長</b> 堀ノ内熊野神社 渋谷 達雄	<b>成宗白山神社</b> 岩田 和保
<b>方南北地区</b> 岩崎 太良 齋藤多美夫 鈴木 憲章 岩田 一豊 細野 修三	<b>和南東地区</b> 梅田 清 横尾 信彦 佐野 晃央 岩船 守男 笠原 紀一	<b>尾崎熊野神社</b> 安藤 雄次					

**東日本大震災復興祈願**

「私どもは3・11を忘れません」

当日朝の朝御饗祭で、復興祈願の祝詞を奏上し、**大祓詞3巻**を奉唱しました。また、地震発生時刻の午後2時46分にはご参拝の皆様にも呼びかけ社殿前にて犠牲となられた方々へ**1分間の黙祷**を捧げました。また大宮幼稚園園庭でも園児らが先生方とともに黙祷しました。3月15日には、**東日本大震災復興祈願祭**を月次祭と併せて斎行し、一日も早い被災地の復興を祈りました。未曾有の大災害をもたらした東日本大震災から9年を迎えましたが原発事故の問題を含めて、復興はまだまだ道半ばです。





# 第7回フォトコンテスト作品募集中 ～締め切りせまる～

大宮八幡宮は都心にありながら広大な境内を有し、周囲を豊かな自然に囲まれています。四季折々に様々な花が咲き誇り木々が生い茂り、参拝者の目を楽しませてくれます。

そんな当宮の自然や祭典行事風景を、プロ・アマ問わず写真愛好家の方々の目で写し撮って、その作品を八幡大神様にご奉納頂き、今秋の大宮八幡祭り（秋の大祭）期間中に展示し、ご参拝の皆様楽しんで頂きたく、第7回フォトコンテストを開催致しますので、皆様奮ってご参加頂きますようお願い申し上げます。

プロ・アマ・年齢不問

小・中・高校の学生さんも歓迎!

応募作品についての詳細は、社頭やホームページ上にてご確認ください。

協力写真店

ホットカメラ本店（浜田山）  
フォトグラフ三光堂（大宮八幡宮入口）  
カメラハウス本店（久我山）

締め切り日  
令和2年7月31日

募集サイズ：  
2L・4ツ切サイズ  
大宮八幡宮に関係した作品であれば、風景・人物・行事等テーマは自由です。（1人5点まで）



審査風景

但し、各神事での撮影禁止事項をお守り下さい。

※入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用权は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させていただきます。（※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させていただきます。）

## 過去6回の最優秀賞（宮司賞）入賞の作品

第1回



『当たれ!』大野 貴義氏

第2回



『祭りだワッショイ!』大野 貴義氏

第3回



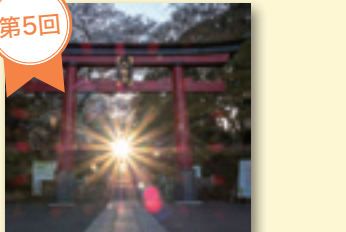
『後押し』杉園 幸司氏

第4回



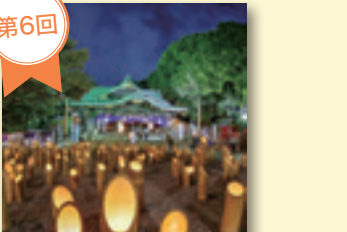
『十五夜の神遊びで神様もお喜び!』  
奥村 泰子氏

第5回



『後光さす八幡宮』  
早川 幸子氏

第6回



『竹取りの物語り』  
久保田彬洋氏

8月15日、第37回戦没者慰霊祭が斎行されます。当宮及び兼務社の氏子地域より出征された戦没者のご英霊たちに感謝と追悼の誠を捧げ、世界平和を祈念致します。



## 第37回戦没者慰霊祭

8月1日は葉月朔旦祭に引き続き御神水の湧き出る多摩清水社の例祭が斎行されます。水の大切な盛夏のこの時期に、水神様の御神徳を称え水の恵みに感謝の誠を捧げるお祭りです。神門を出た入り口には、阿波野青畝の「広き野に靈の清水のあるところ」と詠まれた句碑があります。



## 多摩清水社例祭

6月中旬より7月下旬まで、(社)国旗のある自由画コンクール入選作品展が、神門内北側翼廊ブルードに展示されます。4歳児から小学6年生までの子どもらしくのびのびと画題に見合った金賞・銀賞の入選作品で展示されます。

## 国旗のある自由画コンクール入選作品展

## 大宮八幡の杜 春から夏へ

### 神功皇后祭

ご祭神の神功皇后様は、息長帯比売命と申し上げ、三韓の平定に向かわれる際には、応神天皇様を身籠もっておられ、凱旋の折、筑紫国にて応神天皇様をご出産になりました。御子応神天皇（八幡大菩薩）との親子のつながりは、母子信仰、聖母大神（聖母大菩薩）として根強い崇敬を受けられています。昨年は神功皇后様が神上がりましてより一七五〇年に当たり、6月3日に神功皇后老千七百五十年式年大祭を厳粛に斎行致しました。子授け・安産・子育ての神、聖母大神様のご神徳を景仰し更なるご神威の発揚を願い、本年より神功皇后祭を同日に斎行いたします。



## 水無月 夏越の大祓

6月30日は、午後4時より夏越の大祓が斎行されます。大祓は6月と12月の晦日に行われ、平安時代の儀式書である『延喜式』にも記されており、知らず知らずのうちに犯した罪や穢れを祓い清める神事です。神門前の特設齋場にて、先ず宮司以下祭員、参列員一同で大祓詞を奉唱し、各自切麻で自己祓いのあと、人形で全身を撫で息を三度吹きかけます。心身の罪穢れを形代に移して、茅の輪を左右左右と三回くぐって祓い清めを行います。



## 書画行燈の募集

納涼大宮天神こどもまつりにあたり「書・画」の作品を募集します。奉納された書や画は、行燈に貼り灯りを点して7月24日の夕刻より大宮天神祭の献灯としてご社殿前に掲出されます。書または水彩画を指定の用紙に、必ず横長に使用してご奉納（応募）いただいております。（※用紙は社務所にあります。「無料」）



## 平安の雅び第22回乞巧奠と平成の七夕大宮八幡乞巧潜り

7月1日から15日まで、第22回平安の七夕乞巧奠が開催されます。清涼殿口ビエにて乞巧奠を再現します。芸芸上達を願う乞巧奠は、古く平安の世より宮中を中心に行われてきた行事です。また、神門前には梶の葉や五色の布を付けた平成の七夕大宮八幡乞巧潜りが設けられます。



## 「乞巧守」を奉製

大宮八幡乞巧守りを、7月1日（文月朔旦祭）より25日の大宮天神こどもまつりまでの期間限定で授与します。笹竹に紅白の七夕人形が付けられ、学業や技芸の上達を祈願します。



## 大宮八幡祭り(秋の大祭) 祭典日程のお知らせ

本年度の大宮八幡祭り(秋の大祭)は左記の日程により斎行されます。  
\*例祭は9月15日(火)に斎行する  
\*神輿神霊入れ祭・若宮八幡神社並白幡宮例祭は9月18日(金)に斎行する  
\*宵宮祭は9月19日(土)に斎行する  
\*氏子奉幣祭・神輿合同宮入りは9月20日(日)に斎行する  
\*神輿神霊返し祭は9月21日(祝)に斎行する

## 納涼大宮天神こどもまつり

7月24日と25日の両日にわたり、夏の風物詩第20回「納涼大宮天神こどもまつり」が行われます。24日は午後5時より大宮幼稚園園児、近隣の小中学生、崇敬者の方々からご奉納いただいた多数の書画行燈に灯が入り、幻想的な雰囲気の中、宵宮祭を斎行いたします。翌25日は午後5時より大宮天神祭。祭典の後は、「こどもあかり神輿」二基が元氣よく境内を廻ります。午後6時半より第20回「杜のひびきinおおみや」(時間をはずした日の祭事)として勇壮な和太鼓の奉納演奏。また、神門前では、「子供のミニ花火の集い」が催され、大勢の子供たちが賑わいます。氏子青年会による模擬店も出店されます。





Table listing names for the 117th issue, organized in columns. Includes names like 塩浦結月, 坂田結彩, 高垣奏乃, etc.

Table listing names for the 117th issue, organized in columns. Includes names like 下島綾士, 陳易塵, 相原謙太, etc.

初宮詣芳名(懿)

お子様のお健やかな成長をお祈り致します
(令和元年11月21日(令和2年3月20日))

森野結月 本間智景 野村芽生 中里飛陽
大崎理央 寺尾洗希 大塚日菜子 星川紡玖
坂口純真 高田葵子 六瀬郁斗 角張真侑

とんぐり通信

令和元年度を終えて
副園長 草村敏子
平成31年度が始まると共に、新元号「令和」が発表され、5月より令和元年度が始まりました。



謝状贈呈・父母の会長挨拶・お別れの言葉は卒園児一同が述べ、最後に「きみとぼくのララ」を合唱しました。

さった方もいました。そして、神前に一礼をしたのちに御神殿を退出して園に戻りました。園庭には今まで見たことのない赤い長い絨毯がクラスごとに敷き詰められて第二のセシモニーが始まりました。

十三参り祈願のご案内
古来より数えて13歳になった少年少女が盛装して氏神様に参拝し、お祓いを受ける行事です。

Table listing names for the 13th参り祈願, organized in columns. Includes names like 小林慧, 望月智悠, 富晴仁, etc.

祝七五三詣
七五三衣裳展示会7月4日より
毎日朝10時~夕方5時まで開催
七五三年齢表
七歳 女児 平成26年生
五歳 男児 平成28年生
三歳 男・女児 平成30年生

結婚式挙式者芳名(敬称略)
緑豊かな都心の杜。感動の瞬間
初宮詣 衣裳・美容着付・写真・初宮饗膳(ご会食)など承ります。
清涼殿 03(3312)7515

杉森雄輔・容子 秦慎一郎・薫衣
令和2年1月1日~3月31日



# わかば祭り(春の大祭) 5月3日~5日



昭和祭  
〔4月29日〕



弓道場振武殿神殿祭  
〔4月29日〕

## わかば祭り 第一日ノ儀〔3日〕



## わかば祭り 第二日ノ儀〔4日〕

大宮八幡宮 植樹祭(献木式) (みどりの会主催)



## わかば祭り 当日祭(尚武祭)〔5日〕



奉茶の儀



祝詞奏上



玉串拝礼

大 宮 第117号  
令和2年 春の大祭号

令和2年5月1日発行

大宮八幡宮社務所

〒168-8570

東京都杉並区大宮2-3-1

電話 (3311)0105

FAX (3318)6100

Mail:

info@ohmiya-hachimangu.or.jp



大宮幼稚園 第70回卒園式